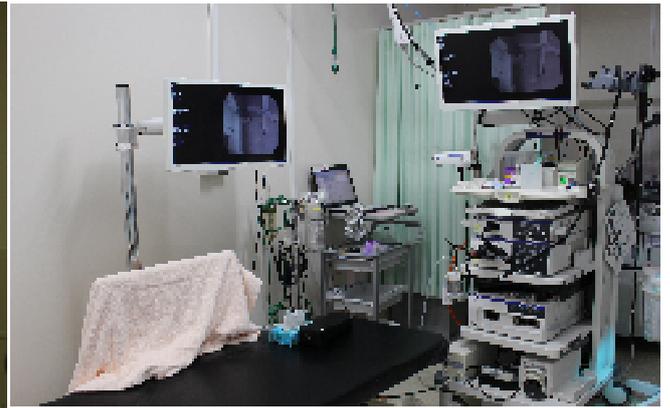




内視鏡室全面リニューアル完了！

内視鏡室を全面リニューアルし、消化器内科医師の勤務環境を整えました。4つの個室とリカバリールーム、若手・中堅医師が中心となる次年度からの消化器内科で、これまでの経験を発揮してみませんか？



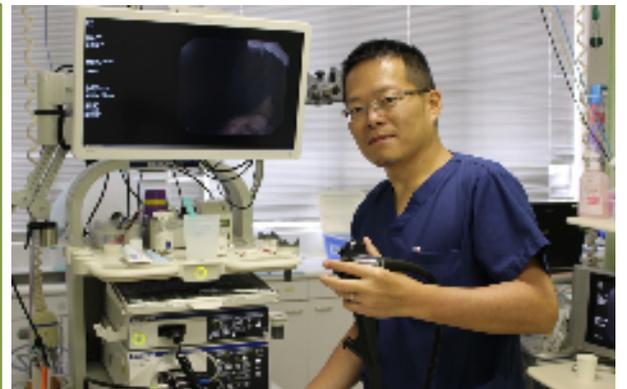
◎当科の特色

当院の消化器内科は診療科として独立しており、担当する疾患は、ほぼ専門領域に特化しています。検査では、上部消化管(食道・胃・十二指腸)、下部消化管(大腸)、ERCP(胆・膵)の各種内視鏡検査に加えて、超音波内視鏡、カプセル内視鏡、ダブルバルーン内視鏡検査を随時施行しています。併設の健診センターもあり上部内視鏡検査や経鼻内視鏡検査にも対応しています。治療では、内視鏡的止血術、早期消化管癌に対するEMR/ESD、EST、胆道ドレナージ術、ステント留置術、肝癌に対するPEIT/RFA等を行っています。胃癌、大腸癌などの悪性腫瘍や胆嚢結石など手術を必要とする場合には、診療科の垣根なく、外科との連携を行っています。スタッフは常勤医と、複数の非常勤医がおり、消化管、肝、胆、膵の各医師の専門分野を生かした診療を行っています。日本消化器内視鏡学会指導医や専門医、日本消化器病学会専門医、日本肝臓学会専門医が所属しており、研修医、専攻医の診療指導にも力を入れています。一般公募からの入職者も、学閥を感じずご勤務頂けるのが特徴です。

消化器内科医長 三田 正樹先生

日本内科学会認定内科医
日本総合内科学会専門医
日本内視鏡学会専門医
日本消化器病学会専門医
日本肝臓学会専門医
日本ヘリコバクター学会感染症認定医

数多くの症例経験を持ち、幅広く内視鏡治療に携わっています。



◎勤務医からのコメント

当院では、一般的な内科疾患とは別に、ほぼ専門領域に特化して診療ができます。研修認定を受けており、幅広い領域で診療を行うことができる為、消化器内科としての経験と症例を積んで頂くには良い環境だと思います。また違う観点より、将来の為にあって一般的な内科診療の担当も希望される方があります。その際には個別に希望を伺い、勤務内容を調整しています。この柔軟さは勤務医師よりやりたい事に取り組めると定評があり、当院の特長の一つとなっています。

◎勤務状況はいかがですか？

外来は予約を中心に週1～2枠程度を担当します。外来の患者数は投薬や再診を含め30名程度が平均です。病棟は主治医制で、医師によりばらつきはありますが、容体が落ち着いた方や処置入院の方を含め、平均して10名程度の担当となります。内視鏡検査は隣接する健康管理センターの受検者もカバーしており、症例数は多い状況です。リニューアルした内視鏡室4部屋を資料して、非常勤医師にもお手伝い頂き、検査しています。1日の平均として午前中は上部を20～24例程度、午後からは下部を8～10例程度と内視鏡治療を行います。当院の内視鏡検査室では種類の豊富な機材が揃えており、スキルを存分に発揮して頂ける環境を整えています。

◎当直やオンコール対応は？

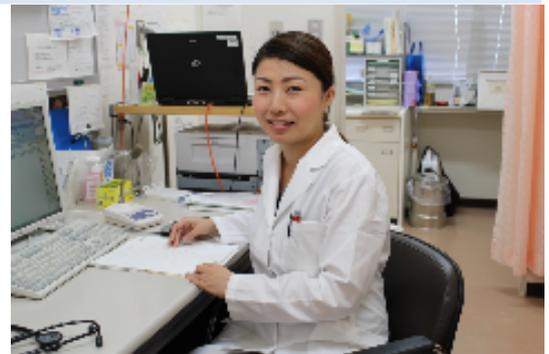
当直は他の内科医師と同様、月に2～3回程度です。オンコールは待機当番制をとり、常勤医師数に合わせて個々の身体への負担も考え調整しています。当直帯にて、専門的な対応が必要な症例については呼び出しとなりますが、オンコール待機番など平等に割り振るようにしています。神戸市北区の救急は輪番制となっており、月に3、4回の頻度にて内科全体の二次救急輪番が回ってきます。輪番以外の日については、かかりつけ患者様の対応がメインとなります。その他、Walk inの患者様もありますが、電話で問合せを頂いた上で受け入れています。

◎求める医師像とは？

学閥もなく、診療科の垣根を感じさせない他科との連携もスムーズな勤務環境です。募集する医師の年齢は問わず、専攻医からベテラン医師まで幅広く募集致します。大学の教室の医師不足などもあり、消化器内科医師数が十分とはいえず、症例を人一倍こなしたい方や、若手への指導経験を生かしたい方など、将来のリーダーを見据えて、広く全国より募集致します。大学への入局などはありませんので、是非、お問合せ下さい。

◎症例数(2018年度)

上部内視鏡検査 5061例
下部内視鏡検査 1765例
内視鏡的大腸ポリープ切除術・粘膜切除術 350例
内視鏡的消化管早期悪性腫瘍粘膜下層剥離術(上下部) 109例
内視鏡的消化管止血術(上部/下部) 114/81例
内視鏡的食道静脈瘤結紮術(EVL) 5例
内視鏡的食道・胃静脈瘤硬化療法(EIS) なし
内視鏡的消化管バルーン拡張術(EBD) 45例
内視鏡的消化管異物摘出術 11例
上部消化管(食道・胃・十二指腸)ステント留置術 11例
大腸ステント留置術 21例
内視鏡的逆行性胆膵管造影(ERCP) 191例
内視鏡的乳頭括約筋切開術(EST) 82例
内視鏡的胆管結石除去術 66例
内視鏡的胆管ドレナージ術(ERBD・ENBD・ENGBD) 51例
内視鏡的胆管ステント留置術 27例
経皮経肝胆管ドレナージ術(PTCD) 5例
経皮経肝胆嚢ドレナージ術(PTGBD)・穿刺吸引術(PTGBA) 21例
経皮経肝膿瘍ドレナージ術(PTAD) 3例
超音波内視鏡検査(EUS)(上部・下部・胆膵) 205例
超音波内視鏡下穿刺吸引術(EUS-FNA) 48例
カプセル内視鏡検査 1例
小腸ダブルバルーン内視鏡検査 9例
経皮内視鏡的胃瘻造設術(PEG) 20例
経皮内視鏡的胃瘻交換術 47例
超音波下肝生検(肝腫瘍生検含む) 8例
ラジオ波焼灼術(肝細胞癌、転移性肝癌) 1例
肝動脈塞栓術(TACE) 6例



消化器内科医長 桂 明子 先生

神戸中央病院の消化器内科外来・内視鏡検査を担うと共に、健康管理センター業務にも携わっています。

病気の治療の事、健康管理の事、幅広く相談できる女性医師です。数多くの症例経験を持ち、幅広く内視鏡治療に携わっています。優しいキャラクターは、院内のみならず患者さんから支持されています。



B型肝炎に対する核酸アナログ治療 33例
C型肝炎に対するインターフェロンフリー治療 22例
腹水濾過濃縮再静注法 9例